

## Graphics & Architectural Markets Division Instruction Bulletin

改訂 2019年02月01日

発行 2014年11月01日

スリーエムジャパン株式会社

グラフィックス&アーキテクチュラルマーケット事業部

### 3M™ スコッチカル™ フィルム の清掃方法について

#### 1. 定義

この説明書は3M™ スコッチカル™ フィルムの清掃方法に関し説明するものです。3M™ スコッチカル™ フィルムは雨ダレ、水垢、油などの汚れが付着したまま長期間放置しますと、固着して取れなくなってしまう恐れがあります。そこで初期の状態を長期間保つために、以下の作業要領に従って、定期的に3M™ スコッチカル™ フィルム（以下、フィルム）の清掃を行ってください。

#### 2. 使用材料および工具

- 洗浄剤  
サインフェイスクリナー（スリーエムジャパン製）または、中性洗剤。  
注意：・中性洗剤を使用する場合は、ご使用中性洗剤の使用説明書の指示に従いご使用ください。  
・研磨粒子や漂白剤等が入った中性洗剤は使用しないでください。また、コンパウンド等も使用しないでください。フィルムの表面を傷つけることがあります。ラッカーシンナー、ガソリン、その他の有機溶剤は、フィルムの表面を侵しますので、絶対に使用しないでください。
- 洗浄用具  
研磨粒子の入っていない洗浄パッド（スリーエムジャパン製スコッチ・ブライト™ ハンドパッド No.8440（白）が最適です。）  
注意：研磨粒子の入っているスポンジやナイロンタワシ等のかたいブラシは、フィルム表面を傷つけますので使用しないでください。
- きれいなウエス（ぞうきん）
- 保護手袋（ゴム手袋）・保護メガネ・保護マスク  
注意：必ずこのような保護用具は身につけて下さい。
- 噴霧器・散水ホース・バケツ
- 洗浄パッド
- ガラス清掃用のゴムスキージー
- 高架仮説ゴンドラ・梯子・・・高所作業の場合

#### 3. 清掃方法

##### 3-1. 洗浄剤の調整

適切な保護手袋および保護メガネを着用してください。原液1に対して水4の割合でサインフェイスクリナーを希釈（5倍希釈）してください。本クリーナーは10倍程度の希釈倍率まで

ならば、洗浄効果が著しく低下することはありません。しかし、サインフェイスクリーナーの濃度が高いと泡立ちやすくなり、作業性が低下することがあります。

### 3-2. 水拭き（水洗い）

かたく絞ったウエスでフィルム表面の砂埃等を拭き取ってください。その際ウエスが汚れたら直ちに洗って、常にきれいなウエスで拭いてください。水を流すことのできる場所では、散水ホースを用い水で洗い流すと効率が上がります。ただし、洗浄剤を使用する前に必ずウエスで水分を拭き取ってください。水分が残っていると洗浄剤が薄くなり洗浄効果が低下します。

### 3-3. 洗浄剤の塗布

あらかじめ準備した洗浄剤の希釈液を噴霧器で、フィルム面に吹き付けるか、洗浄パッド等を用いフィルム面に塗り付けてください。

### 3-4. 洗浄

きれいに洗い、かたく絞った洗浄パッドに希釈した洗浄剤を噴霧器で少量吹き付ける、あるいは、噴霧器がない場合には、洗浄パッドを洗浄剤に軽く浸し絞ってください。この洗浄パッドで、(3)で洗浄剤を塗布した洗浄面を直接的に上下に擦って洗浄を行ってください。円を描くように擦るとフィルム表面に傷がついた時、目立ちやすくなりますので必ず直線的に擦ってください。

注意：洗浄パッドが水や洗浄剤を多く含んでいると、泡立ちが多くなり過ぎて、拭き取り作業が困難となり、洗浄ムラが生じやすくなります。洗浄パッドはできるだけ頻繁に水で洗い、かたく絞って使用してください。

### 3-5. 汚れの除去

汚れが浮きだちましたら、ガラス清掃用のゴムスキージー等で汚れを除去してください。ゴムスキージーがない場合には、ウエスで拭き取ってください。その際拭きムラがないように注意してください。

### 3-6. 仕上げ

きれいな濡れたウエスで洗浄剤を拭き取り、そして最後に水洗い・乾拭きをして完了です。

## 4. 清掃の際の注意点

4-1. 清掃は強風、雨天の時は、避けてください。

4-2. 内照サイン類を清掃する場合は、電源を切って作業してください。

4-3. 高所で作業する場合は、水や洗浄による泡や廃液が通行人等にかからないよう、養生を行なうなどして作業してください。

4-4. 気温の低い冬期にフィルム施工後、すぐに洗浄を行った場合、十分な接着力が得られていない可能性があるため、剥離が起こることがあります。フィルム施工後、十分な接着力が得られるには、48時間が目安となります。

4-5. 高圧洗浄機を洗浄に使用しないでください。高圧水によりフィルムの端部が剥がれることがあります。

4-6. 切り文字等が貼り付けられた面を洗浄する場合、その端部や鋭角部分を強く擦ると剥れる場合がありますので注意してください。特に、ウインドウグラフィックスの場合には、剥れる可能性が高いため、注意して清掃してください。

4-7. 清掃中に表面が乾くと、汚れがムラになって残ります。従って、夏季の直射日光下での洗浄はなるべく避け、やむをえず行う場合は洗浄中に表面が乾燥しない程度の狭い範囲毎に洗浄を繰り返してください。

## 5. 車両に使用したフィルムの注意事項

車両にフィルムを張り付けた後、より長期に渡りきれいな外観を維持する為に、次のような事項にご注意いただきメンテナンスを実施することをお勧めいたします。

- 
- |                           |   |
|---------------------------|---|
| • 洗車について                  | 気温が高く直射日光の当たる晴れた日は洗車を行わないで下さい。乾燥による水垢が残る原因になります。土砂等の汚れがついたまま、表面を拭くとフィルムに傷が付くことがあります。洗浄は最初表面に付着した粒子分を水洗等で取り去り、その後、表面を拭き取ってください。また、研磨剤を含まない中性の洗浄液で水洗いしてください。  |
| • 洗車機による水洗車について           | 水洗い洗車は可能です。水垢が残らないように洗車後はすぐに水滴を拭き取ってください。   |
| • 洗車機によるワックス洗車について        | 以下の製品に関しては、フィルム表面に防汚機能を付与しており、ワックス洗車が可能です。<br>3M™スコッチカル™フィルム JS1000XL<br>および JS6000XL シリーズ<br>3M™スコッチカル™グラフィックフィルム(IJ4114、IJ4116N、AF1964 ラミネート品)  |
| • 高圧洗車について                | 高圧洗車は剥がれの原因になりますので避けてください。やむを得ず使用する際は以下の様に、フィルムの剥がれに注意しながらご使用下さい。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 噴射圧をできるだけ下げる。(目安; 30kg/cm<sup>2</sup>以下)</li><li>• 噴射角度をフィルムに対し垂直に当て、斜めから当てない</li><li>• 噴射ノズルとフィルムの間は2m以上離す</li></ul> |
| • 洗車機、ブラシ等によるフィルム表面への細かな傷 | 洗車の際、洗車機や手洗い時のブラシ、水分拭き取り時の布によってフィルム表面に細かな傷が付く場合があります。このようなすり傷はフィルム事態の品質には影響を及ぼすことはほとんどありませんが、見栄えの観点で彩度が低下し劣化しているように見える場合があります(退色ではありません)。ご了承願います。   |
| • シャンプーインワックスのご使用について     | シャンプーインワックスのご使用は可能です。但し、若干光沢が上がる場合がありますので、事前に目立たない箇所でご確認ください。   |
| • ワックス艶出し剤タイプの洗浄剤のご使用について | ワックスのご使用はお勧めいたしません。   |
| • 固形ワックスのご使用について          | ワックスのご使用はお勧めいたしません。   |
| • タイヤワックスのご使用について         | 泡スプレータイプもしくは塗り付けタイプ(水性のみ)をご使用下さい。塗り付けタイプ(油性)は除去しにくい為、お勧めいたしません。   |

- ・タイヤワックスがフィルムに付いた場合 泡スプレータイプもしくは塗り付けタイプ（水性のみ）がフィルムに付着した場合、中性洗剤を染み込ませたスポンジたわしで清掃して下さい。
- ・給油時のガソリン付着について 付着した場合、すぐに拭き取って下さい。
- ・油分等の付着について フィルム表面に油分などが付着した場合、弊社製クリーナー20（もしくはイソプロピルアルコール）を使用して下さい。他の有機溶剤のご使用はお勧めいたしません。
- ・頑固な油汚れの付着について 前記の弊社製クリーナー20（もしくはイソプロピルアルコール）でも除去出来ない頑固な汚れの場合、清掃用布に石油ナフサもしくは白ガソリンを染み込ませて清掃して下さい。（目立たない箇所でフィルム表面に変質が生じていないことを事前にご確認下さい。）
- ・コンパウンドのご使用について コンパウンドはフィルム表面に細かな傷を付け、光沢変化等の劣化をもたらします。使わないで下さい。

## 6. 免責事項

次のいずれかに該当する場合は、当社は一切の責任を負いません。お取り扱いにご注意ください。

- ・ ご使用方法やご使用環境に起因する不具合（例：フィルムに外力や応力が加わったことに起因するもの）
- ・ 人為的な外部要因に起因する不具合（例：オーナー様または第三者による保守、改造等に起因するもの）
- ・ 事故等の不可抗力に起因する不具合
- ・ フィルムを剥がす際に車輻についた傷および汚れ
- ・ 通常のご使用環境下で生じた傷および色調変化、汚れの付着
- ・ 人災、天災、地震等、フィルムの品質に起因しない事由による場合
- ・ 有機溶剤、強アルカリ、強酸その他薬品等による不具合

## 7. 備考

- ・ 廃材は産業廃棄物として処理してください。

## 8. 注意事項

- ・ この使用説明書の著作権は弊社に属します。よって、無断複製、引用等を禁じます。

本仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告は全て弊社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任を全て負うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書に依らない限り弊社は責任を負いません。

3M、スコッチカルは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社  
 グラフィックス&アーキテクチャルマーケット事業部  
<http://www.mmm.co.jp/cg>

Please Recycle. Printed in Japan.  
 © 3M 2019. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-123

8:45～17:15 / 月～金（土日祝年末年始は除く）  
 全国どこからでも市内料金でご利用いただけます